

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)12月5日
所属名：東近江農産普及課東部
番号：D23015
部門分類：110(稲)
発信者名：川上、椎木 他

近江米新品種「きらみずき」令和6年度の作付推進説明会を開催

11月8日、10日に令和6年度に本格デビューを迎える水稻新品種「きらみずき」の作付推進を目的に、栽培に関心のある管内の生産者を対象とした説明会を近江米振興協会、みらいの農業振興課および東近江地域農業センターと連携して開催しました。参加者は2日間で生産者203名、関係機関55名の計258名でした。

説明会では、みらいの農業振興課から「きらみずき」の生産・流通の方針について説明後、当課から、東近江管内の令和5年産の栽培について、収量が生産者やほ場によってバラつきが大きく、一部で低下した結果とその原因を報告しました。あわせて、次年産に向けた対策について説明しました。

参加者からは、今年度の「きらみずき」の収量や品質、増収のポイントなどについて質問があり、「きらみずき」栽培への関心の高さが伺えました。一方で、「『きらみずき』を栽培したいが、病害虫が発生して化学合成農薬を使用した場合、『きらみずき』として出荷できなくなるなどリスクが大きく、不安を感じる。」といった意見もありました。

当課では、「きらみずき」が生産者および消費者に選ばれる品種になるよう、今年度の結果を踏まえ、次年度の生産者が収量をしっかりと確保していただけるような支援と、さらなる作付拡大に向けて、関係機関と連携し取り組んでいきます。



(11月8日 能登川会場)



(11月10日 蒲生会場)

熱心に聞き入る生産者